

藤田観光株式会社
2024年12月期第2四半期(中間期)決算説明会 質疑応答要旨
2024年8月8日(木)実施

【業績予想の前提(営業指標)について】

- Q、 WHGを中心にADRが高水準で推移している。さらに上振れる余地はあるか。
- A、 下期(7~12月)については、前年比の伸び幅は縮小する見立てだが上昇基調は続くともみている。全社で付加価値向上に取り組む、ADRを高めていく。
- Q、「箱根小涌園 天悠」「箱根ホテル小涌園」の営業指標について、上期(1~6月)は想定を下回る結果であったが下期は前回発表の数値を上回る想定となっている。その蓋然性は。
- A、 下期の予約状況が改善してきていることを織り込んだ想定である。

【円高影響について】

- Q、 円高により直近の予約状況に影響はあるか。
- A、 今の段階では直接の影響はない。

【出店計画について】

- Q、 新規出店について発表がないが、出店の障害となる事象があるのか。
また、「箱根ホテル小涌園」増室計画の進捗状況は。
- A、 建築コストや物件価格の上昇を踏まえ、採算性を慎重に検討している。「箱根ホテル小涌園」については開業から1年経過したところであるので、進捗をみている段階である。

以上